

# こら

第113号

2026年2月  
12月定例会

議会だより



## 目次

中学生議会	2.3	補正予算	4	審議結果	5
研修報告	6.7.8	VOICE (町民の声)	16		

# 中学生議員が 身近な問題について行政に質問!!

## 第18回 中学生議会

11月27日、中学生議会が開催され、選出された中学生議員が橋本選管委員長から当選証書を付与された。



いとう りゅうの すけ  
伊藤 龍之介 議長



あきやま じん  
秋山 仁 議員

甲良町はJRの駅から遠いため高校進学後の通学等で困ることがあります。

バスの本数増加等公共交通機関を充実させる計画はありますか。



おくがわ かいと  
奥川 海音 議員

昨年人口減少により消滅する可能性のある自治体の一つに甲良町が挙げられました。甲良町に留まる、戻るため取り組んでいることはありますか。



きたがわ とも き  
北川 知樹 議員

町は予算をどのように決め、若い世代に関わる事業に何割の予算が使われていますか。

また、中学生議会以外で議会に声を届け、予算に反映させる方法はありますか。



たなか たつのり  
田中 辰昇 議員

甲良米、柚子、梅等の町の特産品をさらに広めるため両センターで販売してはどうでしょうか。

また、町の特産品を町外に広めるため行っていることはありますか。



のせ  
野瀬 かな 議員

以前は甲良中学校から代表生徒が海外に行き言語、文化を学ぶ機会がありましたが、現在はオンライン等での交流となっています。中学生の語学力を更に向上させるため再度計画していただけではないでしょうか。



は せ が わ ゆうせい  
長谷川 勇星 議員

地域交流やスポーツを行う環境を充実させるように体育館貸出以外で競技場等を作るのはどうですか。

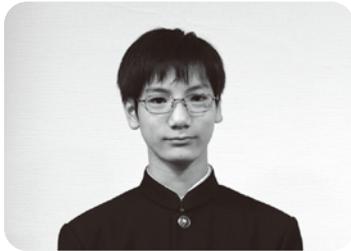
また、熱中症対策のため自動販売機で甲良の水を販売してアピールできないでしょうか。



ふじさわ りょう  
**藤澤 遼** 議員

町の高齢化率について県内の他市町と年齢別人口分布を比較して教えてください。

また、高齢者が安全、安心して暮らすために町が力を入れているサービス等がありますか。



みやがわ わたる  
**宮川 渉** 議員

中学校で税金について学習を行い、町のふるさと納税の寄付額が県内で低いことを知りました。昨年の寄付額と用途は何ですか。

また、寄付額を増やす計画はありますか。



**レオン ミユキ** 議員

大雨や地震などの災害が起きたとき、町ではどのように避難や支援を行うのですか。

また、災害時の備えとして食糧や水を蓄えていると思いますが、どこにどの程度の量がありますか。



わだ りくと  
**和田 睦斗** 議員

中学校のエアコン等の設備が老朽化し、今年は修理が完了するまで使用不能でした。設備の一斉更新の計画はありますか。

また、他の学校では体育館にエアコンが設置されているところがあるため導入できないのでしょうか。



未来を担う中学生から、地域愛や思いやりにあふれる提言や質問がありました。堂々と自分たちの考えや思いを伝えている姿が見られました。

# 注目事業

12月  
議会

令和7年12月定例会が、12月4日から12日までの会期で開催された。  
ここでは、注目の事業をピックアップして紹介します。

## 令和7年度 甲良町一般会計補正予算（第4号）

可決

補正額 **2億230万円** 補正後予算額 **46億4,436万円**

### 債務負担行為補正（追加）

（補正予算の中で、将来の支出を伴う契約（債務）を結ぶ権限を新たに与える措置のこと）

- ・町住宅用地開発事業基本設計業務委託 **4,800万円**（R7年度～R8年度）  
尼子駅周辺宅地開発で、約100区画の宅地造成工事にかかる基本設計業務委託の契約のため。
- ・子ども子育て応援事業委託 **878万円**（R7年度～R8年度）  
来年度4月からの事業（子どもの学力向上と保護者支援）実施に向け、本年度中に契約を行いたいため。

## 甲良町過疎地域持続的発展計画の策定について

可決

令和4年度より過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づく過疎地域の指定を受け、持続可能な地域づくりの実現に向け策定された計画が、本年度末に計画期間を迎えるため、新たな計画を策定するもの。

【主な変更内容】 \*尼子駅前の住宅用地確保事業を取り入れた内容に変更

### 現行計画（R4～R7） （移住・定住の促進）

すまいの補助金事業においては、助成を受けて定住する人が毎年出てきているものの、補助金制度自体もより利便性の高いものへ検討を進めているところです。

甲良町持続可能な地域づくり計画はこちら！



### 更新後（R8～R12） （移住・定住の促進）

甲良町空家住宅等除却支援補助事業においては、町内はもちろん、町外所有者に向けた補助制度の周知の強化を図っているところです。

また、本町では新築や増改築の町内・町外者のニーズに対応できる宅地が圧倒的に不足しており、農地を宅地に転用するには厳しい法規制がある中、町が主導的に宅地需要に応える施策が求められています。

○近江鉄道尼子駅西側の農地を開発候補地とし、農地転用等に係る法規制の解除を図り、早期に分譲宅地の開発を目指します。

## 審議結果

## 令和7年12月定例会

12月4日～12日

### 全 員 賛 成

甲良町行政財産使用料条例の一部を改正する条例
甲良町議会議員及び甲良町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例
甲良町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例
令和7年度 甲良町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
令和7年度 甲良町墓地公園事業特別会計補正予算（第2号）
令和7年度 甲良町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
令和7年度 甲良町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）
令和7年度 甲良町下水道事業会計補正予算（第2号）

### 賛否がわかれたもの

	議 員 名									議長	結果
	福原	木村誠	藤居	山田	小森	西川	野瀬	木村修	西澤		
甲良町公共下水道使用料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	可決
令和7年度 甲良町一般会計補正予算（第4号）に対する修正（案）	●	●	●	●	●	●	●	●	○	-	否決
令和7年度 甲良町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	原案可決
甲良町過疎地域持続的発展計画の策定につき、議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	可決
多様な民意を切り捨てる衆議院議員定数削減に反対する意見書（案）	●	○	●	○	●	●	●	●	○	-	否決
平和といのち、くらしを脅かす、軍備大増強に反対する意見書（案）	●	●	●	○	○	●	●	●	○	-	否決

【賛成は○、反対は●、議長は可否同数の場合のみ採決に加わる】

## 審議結果

## 令和7年第2回臨時会

12月23日

### 全 員 賛 成 （木村誠治議員欠席）

甲良町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
令和7年度 甲良町一般会計補正予算（第5号）
令和7年度 甲良町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
令和7年度 甲良町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）
令和7年度 甲良町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）
令和7年度 甲良町水道事業会計補正予算（第3号）
令和7年度 甲良町下水道事業会計補正予算（第3号）

### 賛否がわかれたもの

	議 員 名									議長	結果
	福原	木村誠	藤居	山田	小森	西川	野瀬	木村修	西澤		
甲良町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	欠席	○	○	○	○	○	○	●	-	可決

【賛成は○、反対は●、議長は可否同数の場合のみ採決に加わる】

# 視察研修 どう活かす？



総務民生および産業建設文教常任委員会は、合同で9月9日に滋賀県彦根市のNPO法人フリースクール「てだのふあ」に10月21日に石川県志賀町、22日に福井県南越前町において、視察研修を行いました。

## 滋賀県 彦根市 NPO法人フリースクール「てだのふあ」



### 視察の目的

昨今、不登校児童・生徒の急増が単に教育課題のみではなく、広く社会問題になっている。本町も幾人かの児童・生徒があり、当事者・保護者はもちろんのこと、教育現場でも先生方はじめ関係者が苦心されている現状に鑑み、議会ならびに行政・教育機関として、問題点の認識を深める。

また、社会情勢も絡み、複雑な課題ながら、連携し解決策を見出すことを目的とする。

### まとめ・行政への提言

研修は、山下吉和代表の講演と施設の視察を行った。2020年に開校し、彦根市の市街地で古民家を大改修した施設で運営している。対象は小・中・高校生。スタッフは、常勤者7名（教員出身・医療経験者など）と非常勤スタッフも多数在籍しており、必要に応じて音楽、座禅など、専門講師と連携をされていた。

山下氏によれば、様々な事情で学校に行きづらさを抱える子どもたちに「居場所」を提供するために開校した。子どもたちが本来持っている個性や能力を伸ばし、活動意欲や生きる力をとりもどし、自己肯定感を高め、次のステップへと踏み出せるようサポートしている。利用者の子どもは、訪問した私たちを「こんにちは」と元気な声で歓迎してくれた。スタッフが子どもたちに寄り添う姿勢と、その成果が伝わってきて、議員からは「てだのふあ」に対する感謝の言葉が述べられた。

山下氏がこの取組みを始めるきっかけも大変印象深いものがあり、いじめ・校内暴力の深刻さの現状の中で「不登校」という生易しい表現ではできない、その子どもの命に係わることだとお話いただいた。子どもたちの学びと未来のためには先生と教育予算を増やし、「不登校問題」への認識を深め、「てだのふあ」の取組みに学び、その活動を知っていただきたいと感じた。

## 福井県 エコクリーンセンター南越



### 視察の目的

現在、彦根市と犬上・愛知の4町で新ごみ処理施設整備計画が取り組まれている。南越清掃組合は、令和3年竣工の新しい施設であり、県内および全国の同規模自治体との数値比較による目標達成状況の評価及び建設費用など、多くの指標において今後の協議の参考にする。

### まとめ・行政への提言

越前市、南越前町、池田町の1市2町で構成する南越清掃組合の施設は、想像以上にコンパクトで、施設の概要は、全連続燃焼式ストーカ方式42t/日が2基、熱利用 蒸気タービン発電機(1470kW)、竣工：令和3年3月31日、建設費95億2,560万円です。

私たちの一番の関心ごとは、財政状況が大変きびしい状況で、町政にも町民にも、いかに負担をかけないごみ処理計画にしていけるかです。さらに重要な課題は、気候危機が深刻になる中、生ごみ・紙おむつの分別処理など、できるだけ焼却するごみを減らし、小規模の施設で財政負担を軽くすることが必要だと感じた。

## 石川県 志賀町



### 視察の目的

令和6年1月1日16時10分頃、石川県能登半島で震度7の地震が発生し、県内に甚大な被害をもたらした。その被害状況及び復興状況と災害に対する認識および議会对応について学ぶ。

### まとめ・行政への提言

能登半島地震により、志賀町を含む6市町を中心に大災害となった。

令和7年10月1日時点で人的被害(死者24人、重傷19人、軽傷97人)、9月1日時点で建物被害17,055棟(全壊、半壊、一部損壊等)である。これらの被害により、住宅を失い仮設住宅での暮らしを余儀なくされている町民が499世帯にのぼり、町外に避難をしている町民も多くみられる状況です。

産業被害で日常生活に与えた影響は甚大なものとなっているが、被災された方々は各種支援制度を利用しながら、復興へと歩んでおられた。「石川県創造的復興プラン」を踏まえた「志賀町復興計画」は、令和6年度から令和10年度までの5年間で「復興期」とし、基本理念「かえる、志賀町」①人が帰る ②元に戻る ③町を変える を推進し、早期復旧・復興を目指している。

崩壊した現場を目の当たりにし、復興への道のりは長く時間を要すると感じ、本町においても、もう一度、甲良町総合計画や防災計画において、災害に対しての対策・対応を確認すべきだと強く感じた。

## 町議会議員研修会報告

10月29日

多賀町多賀結いの森にて第66回町議会議員研修会が開催され、2つの講演がありました。

まず、地方議員研究会総括コンサルタント川本達志氏による「役所を動かす質問の仕方」では、質問には「政策提案型」「課題・責任追及型」「自己主張型」の3つのタイプがあることや、質問のツボについてのアドバイスがあり、参考になりました。

全国町村議会議長会議事調査部長 飯田厚氏の「議員のなり手不足対策としての議員報酬の適正化」と題した講演では、全国の議会の現状や課題、なり手不足対策検討委員会での結果報告などがありました。



## 町議会広報研修会報告

11月4日

愛荘町役場本庁舎大会議室にて第49回町議会広報研修会が開催され、自治体広報公聴研究所代表理事 金井茂樹氏による「戦略的広報と議会報づくりの型」と題した講演の後、県内6町の各議会広報誌のクリニックを受けました。

講演で戦略的広報、議会報づくりの型、議会報の要素・構成、議会報の表現について、詳細に説明があり、それをふまえて、入賞作品から学ぶということで、実際のコンクール入賞作品を用いた解説があり、わかりやすくてたいへん参考になりました。

それぞれの町議会の広報誌への助言・指摘もあり、今後の紙面作成で改善していきたいと思えます。



一 般  
質 問

# 町政のここが知りたい! 聞きたい!

一般質問とは、議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、町長などに方針を問うものです。

ページ	質問事項	質問議員
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎少子化対策と尼子駅周辺宅地開発について</li> <li>・部活動の地域移管について</li> <li>・地球温暖化対策実行計画について</li> <li>・水資源の保全と民営化について</li> <li>◎福祉センターの早期再開について</li> <li>・新型コロナワクチン接種データの保存について</li> </ul>	きむら せいじ 木村 誠治
11	◎感知式信号について	こもり まさひこ 小森 正彦
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅について</li> <li>◎保健福祉センターについて</li> <li>◎一ノ井用水歩道橋について</li> <li>・観光について</li> <li>・教育について</li> </ul>	にしかわ せいいち 西川 誠一
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎不登校児童生徒やいじめ対策について</li> <li>◎町の人権研修について</li> </ul>	やまだ みつよし 山田 光義
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎町道の補修について</li> <li>◎新築資金の徴収について</li> </ul>	ふくはら まもる 福原 守
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎役場前交差点改良工事に関する進捗状況等について</li> <li>◎共生社会を生きる私たちの課題は</li> <li>・ごみ分別・減量の計画策定を急ぎ、CO<sub>2</sub>削減と財政負担軽減を実効性あるものに</li> </ul>	にしざわ のがあき 西澤 伸明

◎印の質問を掲載しています。

# 問 少子化対策と 尼子駅前宅地開発の進捗は

答 土地改良事業の受益地除外手続き中



木村 誠治 議員

**問** 本町は2040年、2050年に向け人口減少の深刻さが指摘されている。町長が重点施策として進める尼子駅周辺の宅地開発は町の将来にとって極めて重要だが、規模や時期など全体像が見えにくい。現在の進捗状況、分譲区画数、面積、価格帯など、めざす具体的な数値目標を示された

**答** 現在は土地改良事業における受益地除外の手続きを進めており、その後、農振除外、都市計画法による開発許可へと進む。計画は約100区画、約4ヘクタールで、3工区に分け、第1工区として30区画程度を予定している。価格帯は設計や経費、補助金活用を踏まえ、議会と相談の上で設定する。



# 問 福祉センター

答 多目的研修室の3月末再開を期す

再開遅延の理由は

**問** 令和6年の爆発事故以降、福祉センターの一部が使えないまま長期間が経過し、町民の不便と不安が続いている。原因調査や責任整理が長期化している理由は何か。議会や町民への中間報告は行われているのか。安全が確認できた部分について、限定的・段階的な先行再開を行わない理由についても、構造的・法的根拠を含め説明を求める。

**答** 多目的研修室は令和8年3月末を工期とする修繕を進め、12月中に業者決定予定である。

**答** 消防署による調査は終了し、爆発の可能性がある事象は調査したが、原因の特定には至らなかったとの報告を受けている。現在利用できないのは1階多



# 問 感知式信号 (呉竹南信号)の改善を



小森 正彦 議員

答 令和8年度に、赤点滅ライトの併設、停止位置ラインの引き直しを予定



問 彦根八日市甲西線に交わる金田自動車工業前の交差点は感知式信号だが、停止位置が分からず、信号が変わらないため、車がつながる様子が頻繁に見られる。反対側については、道路に停止位置の印があるだけで、感知式ということが分からないという問題もある。朝になって渋滞したときは待ち切れず、

スピードを出して区内を迂回するなど危険で、苦情が出ている。また、車がつながってどうしようもないときは、近所の人が收拾に当たっていただいている。普通の信号に変えることを区としても要望しているため、警察と協議するなど改善を求める。

答 区からの要望については、10月10日に受け取り、11月19日に彦根署交通課と現場立会いをし、その内容を説明した。当該の交差点は呉竹南信号で、警察によると、交通量の差が多いことから、効率的な交通を確保するために感知式を設置している。

今現在、一般的な信

号機に変更する予定はないとのことである。改善については、感知式信号表示盤に赤の点滅ライトを併設し、感知センサーが正しく反応していることをドライバーに知らせる対策と、道路部分の停止位置のサークルラインを引き直す。素早い対応をお願いしているが、令和8年度対応と聞いて

いる。区内道路を通過する車両もあるため、彦根署交通課、地域課等で朝等の立哨、啓発をお願いする。普通の定周期の信号にしてもらうということについてもしっかりと要望していきたいと思っている。

## 問 香良の湯の採算性を問う



西川 誠一 議員

## 答 プール、香良の湯、年間約4,400万円の赤字

**問** 香良の湯のボイラーの耐用年数は何年か。爆発事故の危険性は。

**答** 利用客も多く入浴料金が250円と安く備品や施設も整い評判の良い施設だが採算は取れているのか。

また、滋賀県の公衆浴場料金は大人490円に改定されており、福祉政策の継続は必要だと思いが財政負担も大きくなっているのではないか。

**答** ボイラーの耐用年数は約10年となっており、供用開始は1999年からで、現在も支障なく使用している。年2回の保守点検をし、仕様上、爆発の危険性は低いと確認している。温水プール、香良の湯の収入と利用客はプール約430万円19千人、風呂約610万円31千人、合計約1,040万円5万人です。但し

この収入は指定管理者の売上となり町への入金とはならない。支出は燃料費約1,536万円、光熱水費約1,421万円、修繕費約282万円、保守点検費約95万円、指定管理料約1,100万円合計約4,400万円。赤字解消には入浴料を約900円にしな

ければならないが難しく、ボイラー、給水ポンプの設備交換は約4,800万円必要となり、維持継続するためにも一度施策を考えるとここらにきている。福祉の観点から、お風呂だけでも何か考える方法がないか検討している。



## 問 一ノ井用水路

## 答 現場を確認し補修する

**問** 歩道橋が通行止め

になっており、床板、高欄の老朽化がひどいためと思うがいつ頃の竣工か。

また、春の観光シーズンやアユ釣り客が多く利用している橋であり、H鋼構造のため荷重は問題ないと思うた

め早急に改修を。

**答** この歩道橋は県により平成12年に架けられた橋で、その後本町に譲与された。現在通行止めにしており、現場を確認したうえで、補修を考える。



# 問 不登校児童生やいじめ対策について

## 答 校内の中にも不登校の児童に対する部屋を設置している



山田 光義 議員

**問** 不登校の児童生徒のいじめ対策と現在把握している不登校児童・生徒の人数とその予備的な可能性がある子どもは何人いるのか。

また、各学校にはカウンセラーやワーカーが配属されているが、相談内容はどのように充実しているのか。

また、令和6・7年にかけてのいじめ調査、アンケートは何回やって、その結果をふまえて個人、全体、保護者指導はできたか。

**答** 令和6年度の不登校児童・生徒は小学校1名で中学校3名、不登校傾向は小学校1名、中学校6名です。本町にはスクールカウンセラーとソーシャルワーカーをそれぞれ2名配置している。子育て支援センターと連携して不登校児童・生徒や保護者が一人で悩みを抱

え込まないように継続した相談支援を行っている。校内にも教育支援センターという不登校の児童に対応する部屋を設置している。全職員が不登校の子どもについて把握し、学年を超えてみんなが全校を見るところという体制をとっている。

いじめ調査の件は年間各校2回〜3回実施している。事案があった場合は個人の聞き取りの対応や各クラスや全体指導をおこなっている。様々な学習を通して自分のやってきた行動を振り返る、内面に迫れるような学習がとて必要だと思う。



## 問 町の人権学習の参加者の増減は

### 答 町人権学習講座は減り、町民のつどいは若干増えている

**問** 町の人権学習について、6月議会でも質問したが、町職員のスキルを上げるには、身近な研修機会が4回

(人権学習講座3回、町民のつどい1回)あるが、昨年と比べて全体の参加数と、町職員の参加状況はどうであったか、参加者を増やす方法や工夫はしたか。また、職員の割り当てはできないか。

**答** 人権学習講座の全体の参加者数は、昨年と比べて減っています。令和6年度は302人のうち職員64人、令和7年度は287人のうち職員66人です。町民のつどいは令和6年度は97人のうち職

員20人、令和7年度は101人のうち職員は23人と若干が増えている。呼びかけの方法は例年通り広報への掲載、チラシの配布・防災無線です。職員の呼びかけは、庁内の掲示板や課長会議でのお知らせで、庁舎や公民館等のチラシの掲示と今年度は周知の回数を増やしている。職員が積極的に自己研鑽で勉強

新しい事にも気づく場でもあると思うし学びの場でもある。本町は人権が一番大事な施策だと思っている。関係課が積極的に対応し、とにかく地域をたとえ一歩でも底上げをしてほしいと思います。



## 問 町道の補修は



福原 守 議員

答 早急に対応が必要な場合は修繕している



問 ここ近年、健康面を重視し歩行補助車を散歩される方も多く見られ、段差によるつまずきや怪我が気になるところである。高齢化社会が進む中で、自身の体力づくりのための散歩や運動を実践していたり、安全な道路管理を

お願いする。町内には、アスファルトの傷みや道路横断側溝のくぼみなど、危険箇所が見られるが、行政ではこのような現状を把握しているのか。道路の補修計画はどうか。

答 道路補修は、道路法に基づき「路面状況調査」を実施しているが、すべてを把握できている状況ではない。地域からの連絡や要望で早急に対応が必要な場合は修繕している。道路の長寿命化に努めながら、随時対応していく。

## 問 新築資金の

## 徴収について

答 弁護士と相談し対応する

問 新築資金の返済が滞納となり連帯保証人に請求がされ1/3を支払った場合、証明書の発行はできないのか。

答 証明書の発行はできないが「和解」の議決や和解条項により、その内容は読み取れる。和解案件として27件、弁護士委任したうち、17件が和解。そのうち、裁判となり勝訴が6件、あとは現在進行中である。

また、弁護士案件のうち、和解案件、分納が厳守されている件数、されていない件数はどれくらいあるのか。分納が約束どおりされていない案件について、今後の対応策にしているか。

分納が厳守されていないのは2件あり、弁護士より対応中。今後は、財産があれば差し押さえ、なければ抵当権の行使など、民事訴訟法に基づき採算性を考慮し実行していきたい。



# 問 交差点事故が起きてからでは遅すぎる



西澤 伸明 議員

答 県とも協議しており、早期解決には変わらない



問 役場前の交差点の改良工事について、6月以降の町の取組、県当局の対応、地元地区の反応、話合いなど報告を。写真や昼間の視察では危険状態の切迫感が伝わらない。7時過ぎには大型車両、ダンプが来ると大変である。私も県に直接要請する機会をつくりたい。

答 県の土木所長が視察され、朝夕の危険性が高いことは認識されていると思う。今後、情報を連携し、重要な事業という認識で町長をはじめ、所長と直接協議しており、早く進めるべきだと思いは変わっていない。

# 問 デマを振りまく排外主義・外国人差別は許されない

答 振りまかれているような事実はなく、

住民登録された外国人も町民だ

問 選挙戦を悪用して、国政・地方を問わず、デマを振りまき外国人差別をおおる国会議員やインターネット配信など、排外主義の風潮がはびこる中、行政や私たち町民が多様性を尊重し、共生社会が活きるまちとすることが重要だと考える。本町の外国人の人数は。

また、外国人の方が生活保護受給を特別に優遇されている事実があるのか。全国では、外国人に対する犯罪が増えているという事実があるのかどうか。

答 本町において在留資格の内、多い順に、技能実習44名、永住者20名、定住者が15名となっている。

生活保護について、湖東福祉事務所に確認したが、そのような事実はないとの回答。外国人の犯罪は、令和6年版の犯罪白書から平成17年で4万

3,662件をピークに、平成18年からは減少傾向にあり、比較の仕方にもよるが、平成17年と令和5年を比較すると、4万件から1万件となり減少している。排他的ことはなく、住民登録された外国人も本町の住民だとよくふまえている。



# VOICE

## 町民の声 Episode.12



### 中学生議会を終えて

中学生議会に参加し、僕は議長を担当しました。初めはとても緊張しましたが、議場に入ってあいさつをしてからは、少しずつ落ち着いて進行することができました。発言する中学生議員の意見やそれに答える町の職員さんの話を聞き、議長には話をしっかりと聞く力が必要だと感じました。進行がうまくいったのは、議員のみんなや町の職員さんからのサポートがあったからだと思います。

この体験を通して、町がこれからも誰もが安心して便利に暮らせる場所であってほしいと思います。

また、中学生議会のような体験の機会が増えると、町のことをもっと身近に考えられるようになると思います。

これからはニュースや町の取組にも目を向け、自分にできることを考えていきたいです。



氏名 伊藤 龍之介さん  
(甲良中学校)

### 3月定例会の予定

～議会を傍聴してみませんか～

月日	内容
3月 3日	全員協議会
5日	開会・一般質問
9日	一般質問 (予備日)
11日	予算決算委員会 (一般会計)
12日	予算決算委員会 (特別会計)
13日	予算決算委員会 (予備日)
17日	委員会 (予備日)
23日	閉会

なお、都合により日程が変更になる場合があります。

会期日程、議会会議録などは、ホームページでも公開しています。

※事前申し込みは不要です。



明るい新年を願います。物価が上がり、とにかく安い物へという気持ちになります。育ち盛りの子どもがいる家庭は、食費だけでなく教育費がどれだけかかるのか本当に大変な時代です。誰もが恩恵を受ける消費税減税こそ今すぐにやってみてほしいと思います。不安はたくさんありますが、明るい期待熱烈的なニュースもあります。アメリカ大リーグのドジャース2連覇、日本人3名の活躍もありましたが、この冬また、大リーグへの挑戦を表明している日本選手をめぐる移籍市場が過熱しています。ヤクルトの村上宗隆内野手、巨人の岡本和真内野手、西武の今井達也投手の3人ですが、これからの活躍を見守っていききたいです。町民の皆様も、この3人のように明るい未来を感じましょう。

発行責任者 議長 丸山 恵二  
議会広報特別委員会 委員長 小森 正彦  
副委員長 福原 守  
委員 山田 光義  
員 藤居 吉也  
木村 誠治

(山田 光義)

あ  
と  
が  
き